



# 未来を紡ぐまちの種まき くまちづくり協議会活動報告会

2025  
8/19  
火

まちの豊かな未来を願い、まちづくり協議会がまいた「種」が、少しずつ芽吹き始めています。これまでの活動を通じて、まちの未来に向けた一歩が確かに動き出しました。

この報告会では、市内7つのまちづくり協議会の特色ある活動を紹介します。これらの取り組みがしっかりと根を張り、大きく成長し、未来に結びついていくために、まちに暮らす私たち一人ひとりがどう関わり、育てていけばよいのかを一緒に考える機会でもあります。

ともにまちの未来を紡いでいきませんか。



# 未来を紡ぐまちの種まき～まちづくり協議会活動報告会～

## プログラム

【日時】 令和7年8月19日（火） 19時～21時

【場所】 生涯学習センター201

### 1. あいさつ

### 2. 活動報告及び質疑応答①

伊深まちづくり協議会 . . . . . 2P

三和まちづくり協議会 . . . . . 6P

### 3. 活動報告及び質疑応答②

加茂野町まちづくり協議会 . . . 10P

山之上まちづくり協議会 . . . . 14P

### 4. 活動報告及び質疑応答③

下米田地区まちづくり協議会 . . 18P

古井まちづくり協議会 . . . . . 22P

蜂屋まちづくり協議会 . . . . . 26P

### 5. 全体講評

### 6. その他

※巻末に、参考資料として、広報みのかも（R7. 3月号）の広報特集「まちづくり協議会  
地域で描く、まちの未来図」の各まちづくり協議会の紹介ページを掲載しています。

## 1. 年間の主な活動

分類	月	項目
イベント	2月	伊深沖凧あげ大会
	4月	いぶカフェ春のマルシェと軽トラ市
	6月	ホテルコンサート
	8月	納涼盆踊り大会
	9月	お月見コンサート
	11月	秋フェスタ
学校野外実習	5・10月	田植え・稲刈りの実習(伊深小学校)
	6・10月	さつまいもの苗挿し/芋ほり/焼き芋(伊深小・ほくぶ保育園)
	夏休み中	学童クッキング
福祉	通年	小さな手助け「ちよっとたのむ輪」
文化	通年	「ギャラリー伊深」写真・書などの展示
環境	通年	里山保全 寺洞里山保全隊 等
市行事との連携	通年	ウォーク美濃加茂・なりわい塾 等
今年の目標	通年	令和7年{昭和100年} 地域の歴史を残す

Instagram



## 2. 地域の歴史を残す

### (1) 伊深の歴史にまつわる絵本の作成

【現在発売中】

『えげんさん』

正眼寺の開祖

かんざん えげん むそうたいし

「関山慧玄無相大師」の物語り



【今回の計画本】

『伊深義民』(いぶかぎみん)

てんな

天和2(1682)年、伊深の農民は不作と年貢の高率に困窮し江戸へ向かい幕府に直訴結果、処刑・追放に処せられた



## 2. 地域の歴史を残す

3

### (2) 地域の歴史を記録して後世に伝える

#### 「伊深に伝わる祭り事を記す懇話会」

3月

地域の歴史文化を記す  
**伊深に伝わる祭り事を  
記す懇話会**

伊深町の各地区では、稲荷様、愛宕様、庚申様などいろいろな祭事が行われている。しかし世代交代とともに、その継承が難しくなっている状況である。今回、懇話会を通じて、それぞれの、場所、やり方、歴史などをお聞きしながら記し、後世に伝えたい。

第一回 大洞・上切地区編  
日時 令和7年3月22日(土曜)  
場所 伊深交流センター



伊深まちづくり協議会



山の上など場所をプロットした

庚申さま(ちこんちこん)、愛宕さま、稲荷さまなどの祭事が各地区で継承が難しくなっている。今回、場所・いわれ・やり方などをお聞きした。

## 2. 地域の歴史を残す

4

### (2) 地域の歴史を記録して後世に伝える

#### 『昔の写真』持ち寄り談話会

7月

『昔の写真』  
**持ち寄り談話会**  
昔の写真を探しています

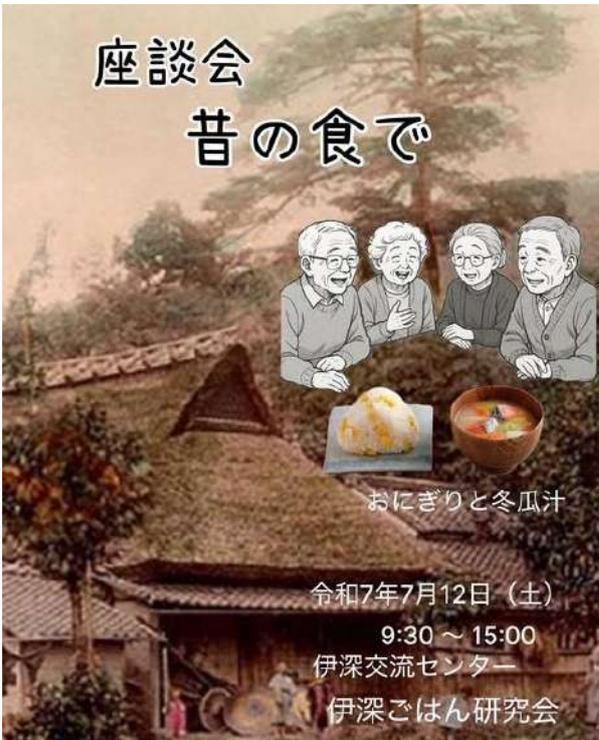


お茶を飲みながらの談話会で  
写真のある方持参で  
ない方も是非お話しを

- 令和7年7月12日(土) 9:30~15:00
- 伊深交流センター

伊深まちづくり協議会

座談会  
**昔の食で**



おにぎりと冬瓜汁

令和7年7月12日(土)  
9:30 ~ 15:00  
伊深交流センター  
伊深ごはん研究会



↑ 談話会の様子

↓ 集まった写真



～昔の食を味わう～

- ・クサギごはん
- ・冬瓜汁
- ・手摘みの三年茶 等



## 『昔の写真』持ち寄り写真資料：抜粋



伊深温泉(雅仙楼)

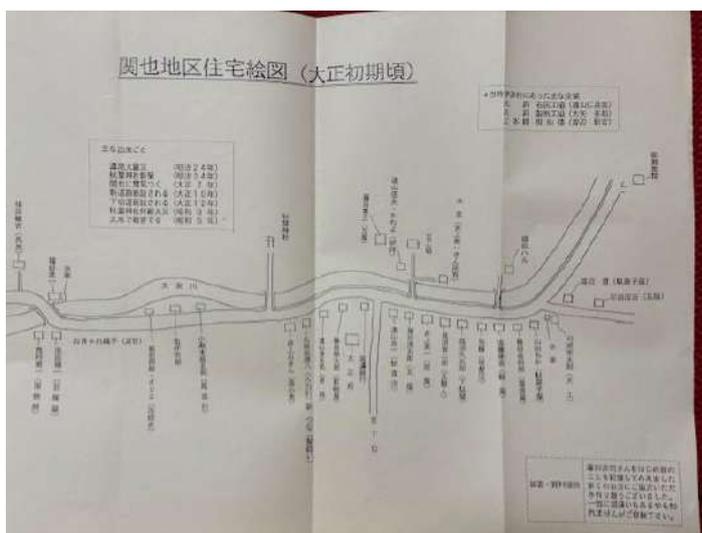
雅仙楼のマッチ  
伊深町 木澤猛氏  
提供 →



雅仙楼の正面玄関  
伊深町 福田範和氏 提供 →



## 『昔の写真』持ち寄り写真資料：抜粋



↑ 古地図 旧関也街道の家並み  
(伊深町 大矢隆氏 提供)

← 古地図  
美濃加茂市民ミュージアム所蔵  
(伊深町 堀畑久夫氏 作)

## 3. 今後の展開と計画

- (1) 資料収集の継続と記録のまとめ  
(富加町など近接地域も含めて)
- (2) 町内広報紙や「ギャラリー伊深」での紹介
- (3) 「敬老会」や「秋フェスタ」で展示する
- (4) 市民ミュージアムと連携し必要な資料は  
共有する



# 三和町の人口が増える日



三和町の入口 通称「富士裏」

ホームページ



インスタ



WWW.NACHIKURUKYOKUJIKAI

御殿山キャンプ場



GGO\_TENZAN.CAMP



三和まちづくり協議会



行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい



命のプログラム（田んぼの生き物観察）



富士山の里山での活動



みんなちがって みんないい！  
自然いっぱい 三和小



やぎとのふれあい



ほたる保護活動



三和まちづくり協議会



# 行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい

参考資料 広報みのかも (R7.3月)



## 三和まちづくり協議会

3



# 行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい



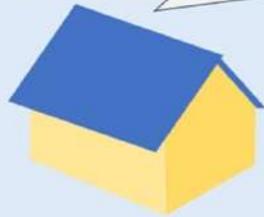
主催 三和まちづくり協議会

## 終活 & 相続

### なんでもお喋り会

Vol.2

何事も準備が大切。とりあえず何か話してみませんか？



「まだまだ先のこと。」「何も考えてない。」「よくわからんわ。」

【開催内容】

- 日時：令和7年8月3日(日) 13時30分から15時30分まで
- 場所：三和交流センター だんらん
- 内容：専門家の先生を交えての意見交換  
質問タイム ・山科正太郎(関あさくら法律事務所)  
・鈴木 光(美濃加茂市福祉課)
- 参加費：無料

事前の申し込みは不要です！皆さんぜひご参加ください。



## 三和まちづくり協議会

4



行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい



三和まちづくり協議会

5



行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい

喫茶つみき

御殿キャンプ場

つづやビレッジ



ハロ



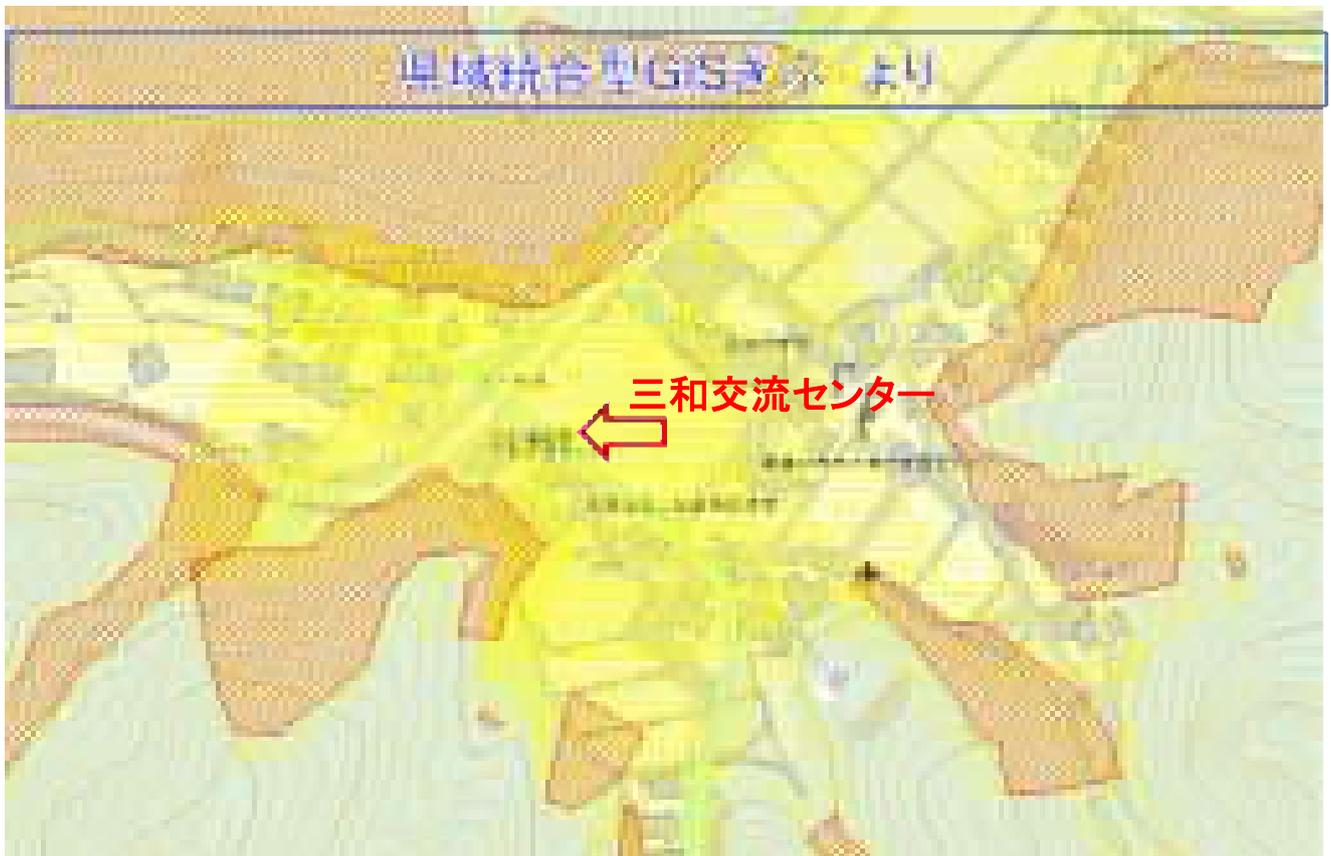
三和まちづくり協議会

6

8



行ってみたい・住んでみたい・住みつづけたい



三和まちづくり協議会



# 三和町の人口が増える日

ご清聴ありがとうございます  
ございました

ホームページ



インスタ



MWA\_MACHIDUKURI.KYOGUJIKAI

御殿山キャンプ場



@GO\_TENZAN.CAMP

**三和町夏まつり**  
と  
三二盆踊り大会

「喫茶つみき」コーナー  
焼きそば・生ビール  
かき氷・お楽しみコーナーなど

「みんな食堂」コーナー  
フライドポテト

「まち協」コーナー  
焼きとうもろこし

**8月23日(土)**  
夏まつり 18:00-20:30  
盆おどり ご自由に踊って下さい

岐阜県美濃加茂市立  
**三和小学校グラウンド**  
駐車場はグラウンド内・雨天中止  
主催 三和まちづくり協議会 (三和交流センター 0574-29-1001 平日のみ)



三和まちづくり協議会



(一社) 加茂野町まちづくり協議会

## 加茂野町の世帯数・人口・自治会加入率

世帯数：4,580      人口：10,813人

自治会加入率：45.40% (外国人を含むと38.49%)

### 課題

・自治会加入率の低下

・子供会の活動停止

人と人とのつながりの希薄化の懸念

かものを盛り上げる

人と人とのつながりを求めて

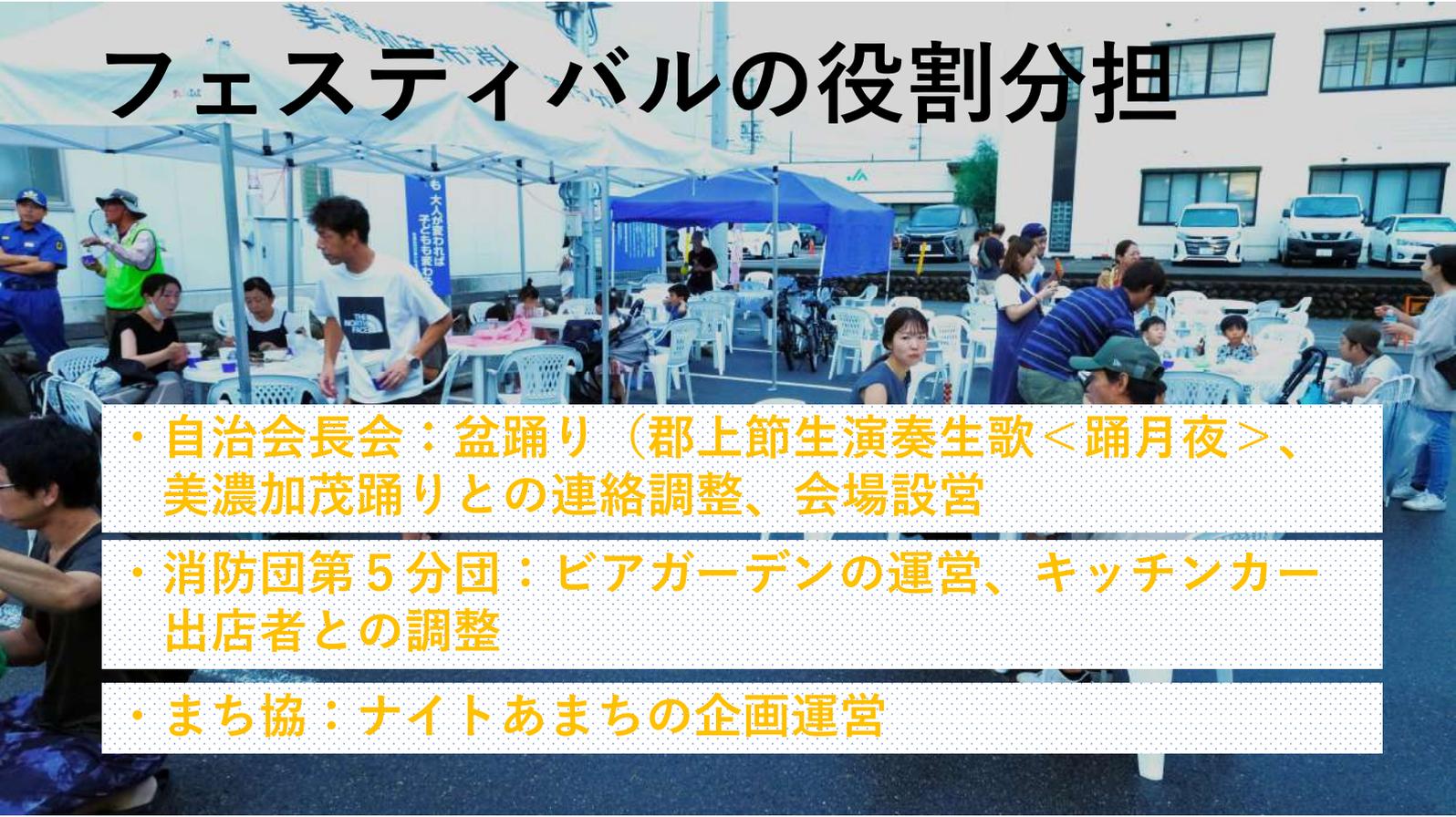
自治会長会の「夏祭り」と  
まち協の「ナイトあまち」の共同開催

かものフェスティバルを開催



## フェスティバルに込めた願い

- ・ 大人も子どもも楽しめる地域の交流の場
- ・ 子ども達に故郷加茂野の思いでとなる場



## フェスティバルの役割分担

- ・ 自治会長会：盆踊り（郡上節生演奏生歌＜踊月夜＞、美濃加茂踊りとの連絡調整、会場設営
- ・ 消防団第5分団：ビアガーデンの運営、キッチンカー出店者との調整
- ・ まち協：ナイトあまちの企画運営

# ナイトあまち

- ・あまち池の周りに子どもたち（保育園、こども園、小学生）が絵を描いた2000個のカップにLEDライトを入れてライトアップ
- ・準備片付けには中学生、ボーイスカウト等のボランティアが参加

## ナイトあまちに込めた願い

- ・地域行事に役割を持って参加することで子ども達の自己有用感、自己肯定感を育む
- ・大人も子どもも故郷の夏の思い出づくり
- ・小学校学校運営協議会の願う姿「地域の一員として進んで関わりふるさと加茂野が大好きな子」に向けた取り組みの一環として



## かものフェスティバルを終えて

- ・スポーツ少年団、小学校PTAの出店で多くの子どもたちが楽しめた。
- ・途中の豪雨になった時の対応（動き）を明確にしておく必要がある。
- ・今後も「ナイトあまち」と合同開催ができるとうい

# 今後に向けて

- ・ 大人も子どもも多く参加できるイベントを通して町民の交流の場をつくる
- ・ 子ども達が関わる場を工夫し、将来的に地域の社会人（一員）として地域のために関わろうとする心を育む
- ・ 自治会長会をはじめ、地域の関係機関との連携を大切にし、まち協の役割を明確にし、まち協への理解と啓発を行っていく。



## 8月2日（土）加茂野フェスティバル2025の様子



フェスティバル参加者：3,000名  
小学生以下の盆踊り参加者：300名

ご清聴ありがとうございました

# 山之上まちづくり協議会

- ▶設立 平成25年11月16日
- ▶組織 役員：会長以下11名 運営委員：36名 協力者：46名
- ▶活動目標
  - 1 自分たちでできることは自分たちです
  - 2 橋渡し役になる
  - 3 チャレンジする

## 1 まちの課題

みんな(町民・自治会・各種団体)を巻込んだ活動、連携・協力の輪をもっと  
拡げたい

- ▶参加者がいつも同じような顔ぶれ
- ▶まち協って何をやっているのかわからない
- ▶みんなで力を合わせる行事や活動の場が少ない
- ▶子どもたちのためにまちとして何ができるか など

## 2 目指す姿(こんなまちになったらいいな！)

みんなで考え、みんなで活動し、みんなの絆が感じられる活気のあるまち

- ▶みんなで考える場がある
- ▶みんなが参加できる活動や行事がある
- ▶参加したことで楽しさを感じ、満足感や充実感が得られる
- ▶また参加したい、もっと参加したい人が増える
- ▶山之上に住んでいいなと感じる人が増える
- ▶子どもたちに山之上の良さを知らせる機会がいっぱいある

### 3-1 そのために・・・まち協の活動

納涼夏まつり（実行委員会）



ふるさとまつり（実行委員会）



ふれあいサロン（主催）



花壇づくり(主催)



### 3-2 まち協の活動

小学校の草刈り（共催）



小学校ふるさと学習・学校の森の整備・こども園行事の支援



薪づくり、ローゼル(栽培・加工・販売)



市長と語る会（主催）



## 4 大変だったこと

### まち協の活動を町民に理解してもらい協力や参加を得ること

- ▶まち協会員の拡大と継続
- ▶安定した活動場所の確保
- ▶行事の人集め
- ▶活動を知ってもらうための手段
- ▶新規参加者の拡大
- ▶小学校・こども園との調整

## 5 工夫したこと

- ▶**自己財源の確保と実費弁償の継続、活動場所の充実**
  - ・薪やローゼル商品の販売収益を財源として作業参加者へ渡す
  - ・JA旧山之上支店店舗の借用と活用
- ▶**広報の充実**
  - ・広報誌「山之上ふるさとだより」の全戸配布（年4回）
  - ・まち協グループLINEへの登録拡大（目標100人 町人口の5%）
  - ・Instagramによる発信（R6年6月～R7年7月 投稿数172 フォロワー340）
- ▶**小学校、こども園とのつながりを深める**
  - ・サロンの活用（合唱発表、米や花苗の販売など）
  - ・ふるさと学習や園行事への支援、学校の森の整備
  - ・草刈り作業の共催呼びかけ（PTA・自治会・財産区）
- ▶**山之上町の課題を共有する場をつくる**
  - ・「市長と語る会」の開催
  - ・総会の案内（自治会長、各種団体役員）
  - ・「山之上の未来を考える講演会&意見交換会」の開催



## 6 成果

- ★まち協の活動がある程度認知されてきた
- ★まち協が団体間をつなぐ役割を担えるようになってきた
- ★自治会・各種団体・小学校・こども園との連携協力のきっかけづくりができた
- ★子どもと関わる機会が増え距離が近くなったことで、まちの大人の姿が子ども達の視点に入るようになった

みんながつどい、つながり、まちを盛り上げましょう！

ご静聴ありがとうございます。

### 【山之上の宝】



山之上の果樹園



山ノ上のサクラ(県天然記念物)



富士山



岩滝山(白隠禅師旧跡)

## まちづくり活動 参加PRへキャラ考案



「仮面ヨナター」は、四月に地元有志で発足「町を愛し、守る人」のした準備会が、アイデアを込めたキャラクター「ア」を出し合う中で浮かんで来た。まちづくり活動グループの登録制度の名前にもしている。はしもよなだだが、

### 美濃加茂・下米田地区「5日に散策会

美濃加茂市下米田町と牧野の住民組織「下米田地区まちづくり活動準備会」が、まちづくり活動の参加者登録制度をPRするイメージキャラクター「仮面ヨナター」を考案し、地区在住、在勤者を主な対象にメンバーを募集している。地域活性化に必要な「人のつながり」を新しい形でつくり、参加者の世代の幅を広げていくのが目標だ。

# 地元を守れ！ 仮面ヨナター

地元では「よなだ」と呼ばれているところを「ヨナター」として、「よなだ」を守る仮面ヨナターとして、まちづくりの象徴として採用する事が決まった。

キャラクターは、関市の若手漫画家「サザイン」。現在は赤色のイラストのみだが、人気が出れば青色や桃色なども用意する。登録した人は、まちづくり活動の案内を受け取ったり、趣味を生

市東部にある下米田地区は、木曾川と飛騨川の合流点付近で田圃と住宅が混在する。準備会は、市が各地区で進める住民主導のまちづくり組織設立の一環として発足した。

かした教室やボランティアを企画したり、その企画に参加したり、今後、メンバーの希望に応じて具体的な活動を進める。登録者にはオリジナル缶バッジを贈る。

## 中濃



ミコノス島  
ゆめがみ 水野 武子  
(土岐市泉町)

関支局  
〒501-3242  
関市東福野町5-12  
0575(22)3234  
Fax(24)3939  
美濃加茂通信局  
0574(25)7788  
Fax(25)7669  
郡上八幡通信局  
0575(67)1077  
Fax(66)0051  
白鳥通信部  
0575(82)2367  
Fax(82)3990  
岐阜支社  
〒500-8875  
岐阜市桜ヶ丘通一丁目12番地  
059(265)0191  
Fax(262)8706  
(販売)(265)0265  
(広告)(266)4791  
(事業)(265)0267

仕事、もっと、  
イキイキ

## 下米田地区まちづくり協議会

# クリーン大作戦



令和5年11月25日

令和5年11月26日ノルディックウォーク



下米田地区まちづくり協議会

下米田地区まちづくり協議会竹灯籠づくり

R7.7.5







# 古井まちづくり協議会 活動報告

## 古井まちづくりビジョン

目指す姿

住んで 楽しい 古井のまち  
～みんなでつなごう、未来の子どもたちへ!～

この目的を達成するためにまちづくり協議会が5年間で進める重点的なビジョン

### 1 多様性を受け入れるまち

#### 重点課題

- 多文化共生・外国人との地域住民の交流
- ひきこもり対策
- 子どもと大人の顔が見える関係づくり
- 自治会未加入者への対応

### 2 生活環境が整備されたきれいなまち

#### 重点課題

- 生活環境の整備
- 不法投棄（ゴミ）対策
- 道路の清掃・環境整備

### 3 防災・防犯に強いまち

#### 重点課題

- 防災活動・消防活動（消防団員への無理解）
- 災害時の要支援者の対応
- 子どもの安全支援
- 空き家対策の支援

### 4 高齢者がイキイキ生きるまち

#### 重点課題

- 高齢者の暮らしのサポート
- 公共交通の利便性

### 5 地域で繋がる健康増進のまち

#### 重点課題

- 健康づくりの機会や場づくり

### 6 子どもが元気に育つまち

#### 重点課題

- 子どもと大人の顔が見える関係づくり
- 放課後の居場所づくり
- 未就園児の親子の支援

# 古井の未来をつくるワークショップ

令和5年度 8回

令和6年度 12回

計20回の開催

協力 美濃加茂市社会福祉協議会

内容 古井地区をもっと知ろう

「食」を通して多文化交流会

中部国際医療学院による「健康講座」

※様々な内容をテーマに毎月開催

---

## ワークショップを行う際の課題

- ・新規参加者の獲得
- ・ワークショップのテーマの選定

工夫したことは…

様々な人を頼ること。(助けてもらうこと。)

中部国際医療学院の  
生徒による「健康講座」



美濃加茂市役所まちづくり課多文化共生係による  
「翻訳アプリ体験会」



NPO法人 アイ  
キャンによる  
「食」を通して多  
文化交流会



ワークショップの参加者から「やってみたい」  
の声が出るように!!



令和7年4月から  
「古井の未来を作るプロジェクト」に名称を変更  
3つのグループに分かれて活動

- ・あい愛バスの活用(チョイソコ)
- ・古井地区内のAEDの設置場所調査
- ・カヌー体験

「川合まちづくりの会」の協力により「カヌー体験会」を開催(令和7年6月21日)



今後とも地域の皆さんを巻き込んだ「まちづくり」に取り組んで行きたいと思えます。



# 蜂屋 まちづくり 協議会

R7.8.19  
まちづくり協議会  
活動報告会



## ○蜂屋まちづくり協議会の紹介

蜂屋の日だよ

令和6年8月8日  
設立

蜂屋のビジョン **みんなでつむぐ、心地よいまち蜂屋**

5つの重点目標

01 暮らしに良い  
環境が  
整っている

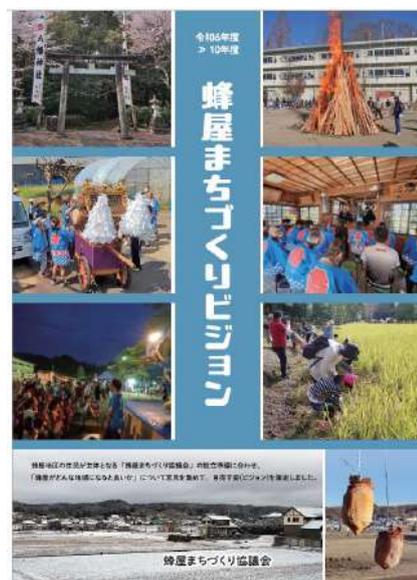
02 交通の利便性が  
向上している

03 多世代で  
みんなが  
イキイキできる

04 まちの  
担い手がいる

05 助け合いで  
防災防犯を

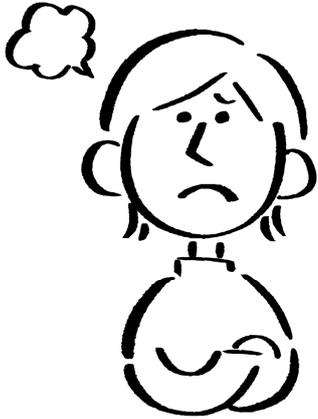
今回は、居場所づくり事業  
「ハニカム」について紹介します！



## ○ハニカムのはじまり

ある定例会の時に高校生から

蜂屋には勉強できる  
場所がない・・・



**まち協でなんとかできないか？**

- ・ 蜂屋交流センターを活用
- ・ ターゲットは小学生から高校生
- ・ 勉強だけでなく交流もできるといい
- 1階▶ワイワイ楽しくスペース
- 2階▶もくもく勉強スペース
- ・ 蜂屋にちなんだ名前にしたい！  
「ハニカム」

## ○これまでのハニカム

第1回 12月22日

- ワイワイスペース ⇒ オーナメントづくり、ボードゲーム等
- もくもくスペース ⇒ 6名の方が自習スペースとして利用



第2回 2月23日

ここで**トラブル発生!**

2階のもくもくスペースの利用者がゼロ!



学期末テストが終わった後だったので、ニーズがなかった・・・



大人だけではニーズがわからない。  
若い世代にも関わってもらおう!

## ○若者の力でハニカム運営

まち協メンバーに高校生が在籍しているので、相談。  
関高校のメンバーが手伝ってくれることになりました！



高校生 ⇒ ポスターの作成、企画検討、当日の運営  
高校生発案のビンゴゲームは大盛り上がり！

まち協 ⇒ ビンゴカードや景品、お菓子等の準備  
当日はサポートのみ



# 高校生メンバーから ハニカムをやってみて 感想発表

## ○今後のハニカム

今後は  
年齢を超えて  
子どもたちと  
様々な方の  
交流を生み出して  
いきたいと  
考えています！



ご静聴ありがとうございました！

インスタグラム  
ぜひフォロー  
お願いします！



▲ Instagram



▲ Instagram

設立 平成 21年 10月

## 伊深まちづくり協議会

### イチ押し活動

私たちは、地域の助け合いの事業や稲作・畑作体験支援などの活動を行いながら、伊深の深い歴史を次世代に伝える活動を行っています。

その取り組みの一つ、「食文化の伝承」では、「伊深ごはん研究会」を主体として、子どもたちと料理を作る「学童クッキング」の開催や、町の行事やイベント時に地元産の食材を使った料理を振る舞うなど、町内外問わずさまざまな人が伊深の郷土料理に触れる機会を作っています。



### まちの未来図

子どもたちが郷土料理に接することは、地域への愛着を深めることにつながります。また、町外の人に郷土料理を知ってもらうことで、伊深の食文化の価値を再発見し、地域への誇りを高めることにもつながると思います。これからも、地域の大切な文化や歴史を未来に伝えていきます。



伊深まちづくり協議会  
こばやし よしのり  
小林 喜典 会長



設立 平成 24年 9月

## 一般社団法人 加茂野町まちづくり協議会



▲ Instagram



### イチ押し活動

加茂野町まちづくり協議会では、「子どもと大人の交流を図る場を創ること」と、「町内の子どもの思い出になる機会と地域の一員として活躍できる場を創ること」を目指し、「ナイトあまち」を開催しています。自治会長と共同で開催する「かものフェスティバル」の一環として開催され、当日はコンサートや盆踊りも行われます。

加茂野町内の子どもたちが好きな絵を描いたカップをキャンドルで照らした天乳池の幻想的な景色が特徴です。



### まちの未来図

「ナイトあまち」は住民同士の交流を深め、町民全体の絆を強める効果をもたらしています。また、多くの子どもたちがボランティアとして関わってくれます。役割を持って参加することで、子どもたちも地域の一員であるという自覚が生まれ、自己肯定感や自己有用感を育むことにもつながると考えます。

今後も人と人とのつながりを大切にして、活動を進めていきたいと思っています。

一般社団法人  
加茂野町まちづくり協議会  
たかい かつみ  
高井 克己 会長





設立 平成 21 年 10 月

## 三和まちづくり協議会



▲ Instagram



### イチ押し活動

地域外の人が三和町を好きになり、住んでもらえるようにするためには、住む場所が必要ですので、私たちは、「空き家対策」に力を入れて取り組んでいます。

一方で、地域内に提供してもらえる空き家が見つからないという課題もあるので、終活や相続に関するおしゃべり会を実施し、地域交流のキッカケ作りも行っています。



三和まちづくり協議会  
あさひ ゆういち  
朝日 有一 会長

### まちの未来図

平成 27 年から空き家対策を進めた結果、これまでに 8 組が空き家などを活用して、三和町に移住してくれました。

皆さん三和町で起業したり、子どもから大人まで楽しめるイベントを企画したり、私たちと一緒に活動したりして、三和町に新しい風を吹かせてくれています。今後も地域全体で空き家対策に取り組んでいきます。



設立 平成 25 年 11 月

## 山之上まちづくり協議会



▲ Instagram



山之上まちづくり協議会  
さこう けんじ  
酒向 謙治 会長

### イチ押し活動

私たちは、地域の人たちが守ってきた素晴らしい里山風景を、自分たちの手で子どもたちの世代にも残したいという思いから、美濃加茂市の「里山千年構想」に基づき、竹林整備や山林の間伐などに取り組んでいます。

間伐材の有効利用として、薪を作るために薪割り大会を行い、地域の皆さんや子どもたちに間伐材の活用を伝えています。



### まちの未来図

里山整備活動は、里山の荒廃を防ぎ、里山の適切な環境維持につながります。また、小学校やこども園の子どもたちが森林の中で遊ぶことができ、地域への愛着の形成や子どもたちの成長にもつながります。

里山を整備して出た間伐材は、薪という新しい資源に生まれ変わり、販売することで活動資金の一部にもなっています。「自分たちの地域は自分たちで守る」をキーワードに、楽しみながら活動を進めていきます。



設立 平成 29 年 3 月

## 下米田地区まちづくり協議会



▲ホームページ



### イチ押し活動

力を入れているイベントの一つに「よなだ納涼夏祭り」があります。この祭りは、私たちだけではなく、消防団やPTA、青年団関係者、小学校、自治会などの団体が連携し、「子どもたちが楽しめる場を」と、夏休みの初日に開催しています。会場の中心にあるやぐらには多くの人々が輪を作って盆踊りを楽しみ、屋台には行列ができるほどの盛況ぶりです。世代を超え、地域を超えて、地域全体が一体となる重要なイベントです。



### まちの未来図

地域のために協力したいという人が集まり、祭りの開催に向けて団結することで、絆が深まり、結束力が高まっています。また、子どもから大人までが一緒に楽しめる、触れ合いや交流の場にもなっています。

目指す将来像は「よいところいっぱい、なかまが集う、だれもが好きな下米田」です。「地元を守れ！」と銘打ったイメージキャラクター「仮面ヨナダー」も展開中です。よなだを愛する人であれば誰でも仮面ヨナダーになることができます。



下米田地区まちづくり協議会  
わたなべ てつろう  
渡邊 哲郎 会長



設立 令和 3 年 6 月

## 古井まちづくり協議会

### イチ押し活動

私たちの主な活動としては、市社会福祉協議会と協力して「古井の未来をつくるワークショップ」を毎月開催しています。

毎回異なるテーマで話し合い、多くの人に参加いただいています。他にも、中部国際医療学院の生徒たちによる健康講座や、外国人が多く住んでいる古井地区の特色として、多文化交流を実施しました。ワークショップをとおして、住民が古井地区について改めて考えるキッカケや新たな取り組みの礎になれば幸いです。

### まちの未来図

ワークショップの参加者が、新たな活動団体を立ち上げ、共に古井のまちを盛り上げてくれていることをうれしく感じています。さまざまな団体と協力し、お互いに高め合いながら、世代を超えて楽しいまちになるよう、これからも取り組んでいきます。

令和7年度は現在のまちづくりビジョンを見直し、これからの古井のまちにより適したビジョンにバージョンアップしていきたいと思ひます。



古井まちづくり協議会  
しらかずやす  
白木 和康 会長





設立 令和6年8月

## 蜂屋まちづくり協議会



▲ Instagram



### イチ押し活動

蜂屋まちづくり協議会は、地域の子どものための「蜂屋にも勉強できる場所が欲しい」という声から生まれた「ハニカム」という居場所づくり事業を始めました。

「ハニカム」では、蜂屋交流センターを使い、勉強の教え合いや地域の人との交流を楽しんでいます。2階は、静かに集中して勉強したい人向けの空間としても利用しています。



### まちの未来図

小学生から高校生といった若い世代や地域の大人たちが集まれる場所ができました。これにより、子ども同士の交流だけでなく、世代を超えた交流につながったと感じています。まだ、活動を始めたばかりですが、これをキッカケに、地域の子どもや大人の意見を取り入れつつ、蜂屋地区をより良くしていくための活動を進めていきます。



蜂屋まちづくり協議会  
は せ が わ き み ゆ き  
長谷川 公之 代表



## 自分たちのまちは 自分たちでつくる

## Message for you

紹介してきた各まちづくり協議会の取り組みは、活動の中のごく一部ですが、これらの活動は、住民同士が助け合う「共助」を育むために重要な役割を果たしています。

例えば、災害が発生したとき、行政だけに頼るのでは対応が間に合わないこともあります。また、個人の力だけではどうにもならない状況も少なくありません。そんなときに重要になるのが、地域の人たちの助け合いです。しかし、地域のつながりが弱まっていると、いざという時に共助が機能しない可能性があります。

こうしたことを防ぐため、まちづくり協議会は、地域のつながりを強め、住民の共助の意識を高め、平常時から安心して暮らせるまちをつくるために、さまざまな活動を行っています。同時に、さらに生活に密着した組織である自治会も欠かせない存在です。自治会とまちづくり協議会は、まちづくりの両輪として、互いに補完し合いながら、地域の力を高めています。

時代の変化とともに生活様式も変化する中、「仕事が忙しくて関わるのが難しい」という人も多いかもしれません。しかし、地域に住む一人一人が、地域のためにできることは必ずあります。地域活動に少しでも興味を持つことや、自治会やまちづくり協議会の活動に参加することもその一つです。小さな行動が次のきっかけとなり、その積み重ねが住みよいまちの未来をつくっていきます。

「自分たちのまちは、自分たちでつくる」、次世代に安心して暮らせるまちをつなぐために、今できることに一歩踏み出してみませんか。